

Thermal Cycler Dice Real Time Systemシリーズ

食品環境検査用ソフトウェアQuick Manual

— 定性解析（+／－判定）用 —

—— 目次 ——

1. 起動と終了	
(1) Thermal Cycler Dice Real Time System IIIの場合	2
(2) Thermal Cycler Dice Real Time System II/ Liteの場合	4
2. 初期画面と解析タイプの選択	5
3. 実験ファイルの画面構成	5
4. 反応条件設定	
(1) PCR条件の設定	6
(2) ランの開始と進行状況の確認	9
5. サンプル設定	
(1) サンプル情報の入力	10
(2) 補足	11
6. 結果/解析	
(1) 基本操作	12
(2) データの種類と解析法	12
7. 結果の出力	17
8. トラブルシューティング	19
9. リアルタイムPCR装置関連製品	20

1. 起動と終了

(1) Thermal Cycler Dice® Real Time System IIIの場合

■ 起動

① 本体とコンピューターがLANケーブルで接続されていることを確認します。

(注意) 本体とコンピューターの接続はLANクロスケーブルをご使用ください。

② 本体背面の主電源をONにします。

③ 本体前面の電源ボタンを押します。

④ 本体が完全に起動後、LCDにホーム画面が表示されます。

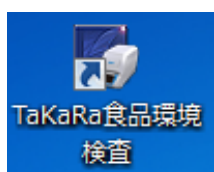
(補足) 本体の電源を入れるとリッドヒーターが約102℃を超えるまではウォーミングアップの状態となります。

ウォーミングアップ中は、LCDの“スタンバイ”状態表示が点滅します。ウォーミングアップが完了し 使用可能な状態になると点灯に変わります。



⑤ コンピューターの電源をONにします。

⑥ デスクトップ上のアイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。



⑦ 画面右下の 機器 と カメラ が“接続”になっていることを確認します。

リッド:開 温度:107.7℃	機器 接続	カメラ 接続
リッド: 温度:	機器:未接続	カメラ:未接続

※ 本体とコンピュータが接続されていないときは、機器とカメラに“未接続”と表示されます。

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

■ 終了

- ① ソフトウェアを終了します。
- ② コンピュータをシャットダウンします。
- ③ 本体LCDのホーム画面に表示されているシャットダウンボタンをタップし、本体を待機状態にします。
- ④ 本体背面の主電源を**OFF**にします。



タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

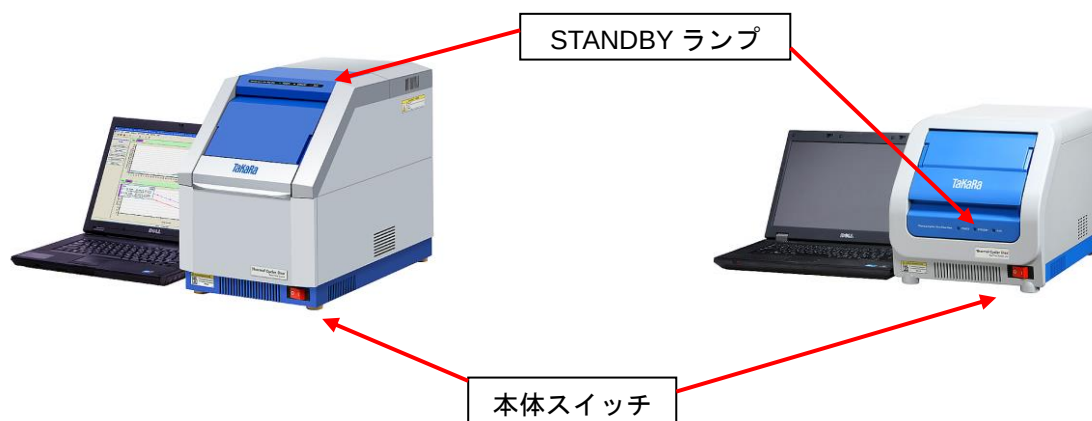
食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

（２）Thermal Cycler Dice® Real Time System II / Lite の場合

■ 起動

- ① 本体の電源をONにします。

本体の電源を入れると、ランプやリッドヒーターのウォーミングアップを行います。
ウォーミングアップ中は、“STANDBY” ランプが点滅し、ウォーミングアップが完了すると“STANDBY” ランプが点灯に変わります。



- ② コンピューターの電源をONにします。
- ③ デスクトップ上のアイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。



96 ウェルタイプ



48 ウェルタイプ

■ 終了

- ① ソフトウェアを終了します。
- ② コンピューターの電源をOFFにします。
- ③ 本体の電源をOFFにします。

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

2. 初期画面と解析タイプの選択

■ 初期画面

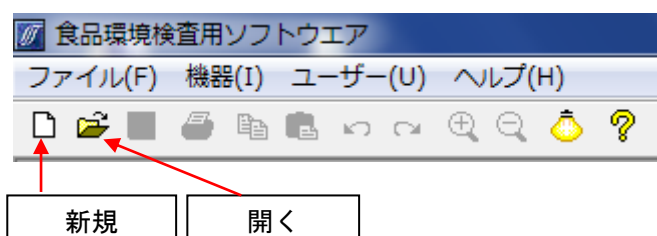
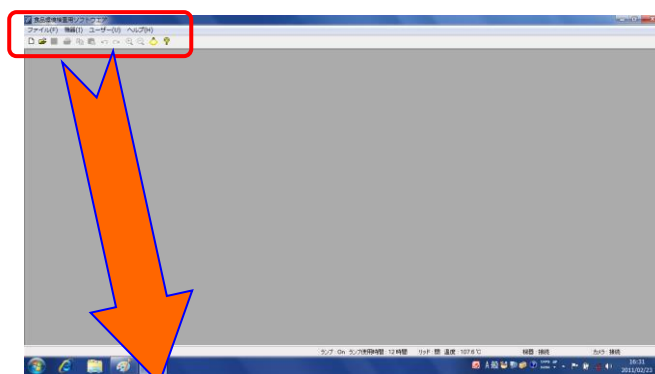
ソフトウェアを立ち上げると右図のような初期画面となります。新しい実験を行うときは実験ファイルを新規作成し、以前に行った実験データの解析をするときは既存の実験ファイルを開きます。

実験ファイルの新規作成

“新規”アイコンをクリック、またはメニューバーから[ファイル]→[新規]を選択。

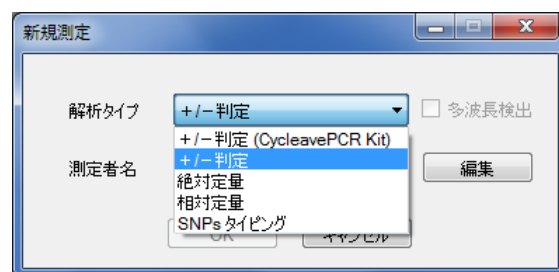
既存の実験ファイルを開く

“開く”アイコンをクリック、またはメニューバーから[ファイル]→[開く]を選択。



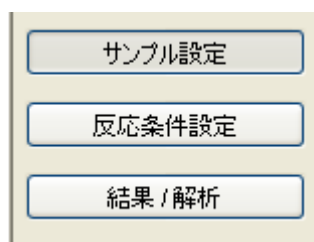
■ 解析タイプの選択

実験ファイルを新規作成すると、“新規測定”ウィンドウが表示されます。解析タイプのの中から、**+/-判定**を選択します。



3. 実験ファイルの画面構成

実験ファイルは、3つの画面で構成されており、画面左側のボタンで表示を切り換えます。



サンプル設定： サンプル情報を入力する画面です。反応を開始した後でも設定を行うことができます。

反応条件設定： PCR条件の設定と検出する蛍光フィルターの選択を行います。

結果／解析： 結果の確認と解析パラメータの設定を行う画面です。図やグラフの出力もこの画面で行います。

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

4. 反応条件設定

反応条件設定画面では、測定に使用する蛍光フィルターの選択とPCR反応条件の設定を行います。ラン開始もこの画面で行い、ラン実行中はランの進行状態を確認できます。

(1) PCR条件の設定

■ 蛍光検出フィルターの選択

測定に使用する蛍光検出フィルターの選択は、画面左上の“検出フィルター”で行います。デフォルトでは、FAMとROXの両方のフィルターが選択されています。FAMとROXの同時検出を行う場合は、変更の必要はありません。FAMのみの検出を行う場合は、ROXのチェックをはずしてください。



■ PCR条件の設定

デフォルトでは、以下の温度条件が表示されます。サイクル数などを必要に応じて変更します。

Hold (初期変性)

95°C、10 sec.

3 Step PCR : 45 cycles

95°C、5 sec.

55°C、10 sec.

72°C、20 sec. (データ取得)

注：“Speed”は、Thermal Cycler Dice Real Time System III with PC（製品コード TP970）の場合はNormalに、Thermal Cycler Dice Real Time System II（製品コード TP900）やLite（製品コード TP700）ではFastに設定します。

食品環境検査用ソフトウェアをご使用の場合、Speedの設定は各装置のデフォルト条件のままなので、設定の変更は不要です。

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

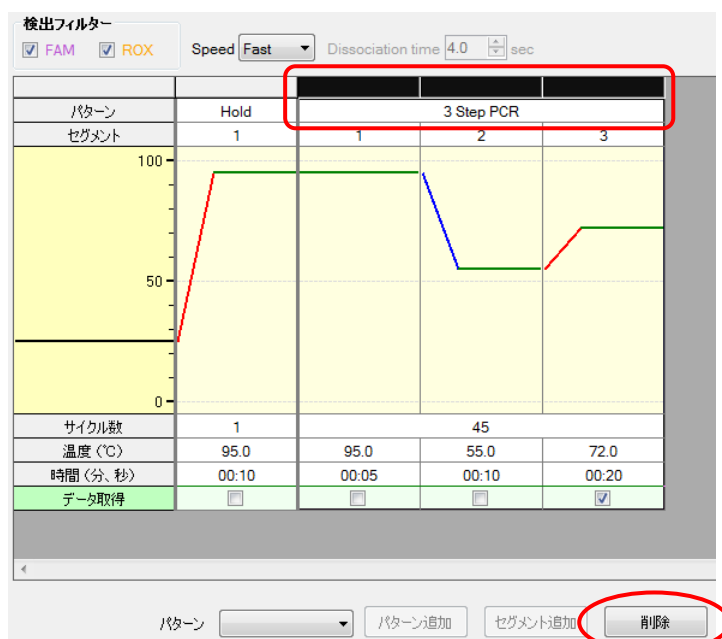
【温度、時間、サイクル数の変更】

変更したい数字をダブルクリックして、数値を入力します。

サイクル数	1	45		
温度 (°C)	95.0	95.0	55.0	72.0
時間 (分、秒)	00:10	00:05	00:10	00:20
データ取得	☐	☐	☐	☒

【パターンの変更】

- ① 削除するパターンを選択し、画面下の“削除” ボタンをクリックします。



- ② 画面下の“パターン” から目的のパターンを選択し、“パターン追加” をクリックします。



■ 既存ファイルからの設定読み込み

以前と同じ条件でランを行う場合には、他のファイルから反応条件設定や後述のサンプル設定を読み込むことができます。画面右上のウェル情報“読み込み”または、“反応条件読み込み” ボタンをクリックすると、ファイルを選択するブラウザが開きますので、目的のファイルを選択して、“開く” をクリックします。

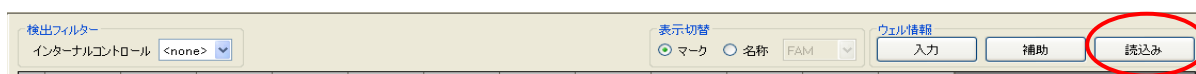
タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -



※反応条件を読み込むと、PCR条件の他に蛍光フィルターを選択なども読み込まれます。



※ウェル情報を読み込むと、サンプル情報が読み込まれます。

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

(2) ランの開始と進行状況の確認

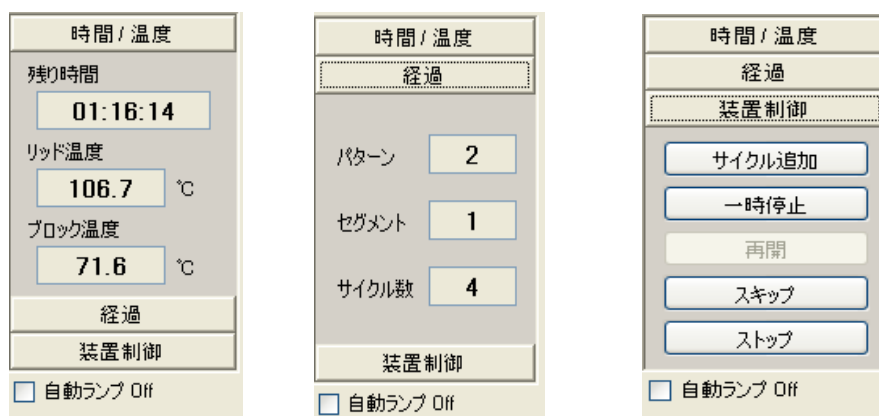
■ ランの開始

PCR反応液を分注したチューブ（またはプレート）を装置にセットし、画面右下の“反応開始”ボタンをクリックします。ファイル名と保存場所を指定し、保存ボタンをクリックします。



■ ラン進行状況の確認

ランを開始すると、画面左側にランの進行状況が表示されます。デフォルトでは、ランの残り時間と温度が表示されますが、“経過”に切り換えると、現在実行中のパターン、セグメント、サイクル数を確認できます。



■ ラン実行中の制御

“装置制御”には、ラン実行中に操作可能な制御ボタンがあります。

- ・ サイクル追加（サイクル数の追加を行います）
- ・ 一時停止（ランを一時停止します）
- ・ 再開（一時停止中のランを再開します）
- ・ スキップ（実行中のパターンを途中で終了して、次のパターンに移ります）
- ・ ストップ（ランを強制的に終了します）

■ ラン終了後のランプ自動消灯

“自動ランプ Off”をチェックしておくと、ラン終了後にランプが自動的に消灯します。次にランを行う予定のないときは、ここをチェックしておくとランプ寿命の節約になります。

※ 光源としてハロゲンランプを使用しているTP800/TP900シリーズのみの機能です。LEDランプを使用しているTP700/TP970シリーズには、この機能はありません。

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

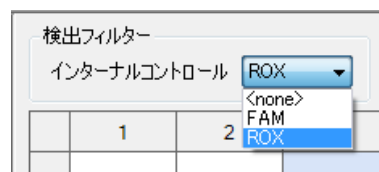
食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

5. サンプル設定

サンプル設定画面では、サンプル情報の入力を行います。サンプル設定画面での設定は、ラン開始前・ラン実行中・ラン終了後のいずれの時点でも行うことができ、設定内容を変更して再解析することもできます。

(1) サンプル情報の入力

- ① インターナルコントロール検出用フィルターの設定
インターナルコントロールの検出に使用するフィルターをプルダウンメニューから選択します。



- ② 画面右上のウェル情報の“入力”ボタンをクリックすると“ウェル情報設定”が表示されます。“ウェル情報設定”の上の項目から順番に設定していくと入力作業がスムーズに行えます。

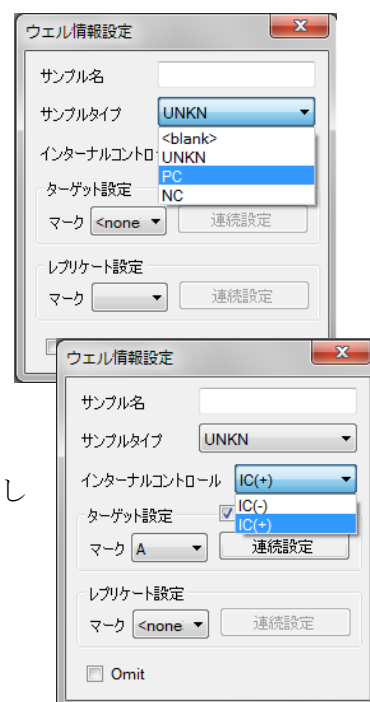


- ③ サンプルタイプの設定
該当するウェルを選択し、サンプルタイプをプルダウンメニューから選択します。

UNKN (Unknown) : 測定対象である未知サンプル

PC (Positive Control) : ポジティブコントロール

NC (Negative Control) : ネガティブコントロール



- ④ インターナルコントロールの設定
各ウェルにつき、インターナルコントロールの有無を設定します。

IC(-) : インターナルコントロールを含有していない反応

IC(+) : インターナルコントロールを含有している反応

- ⑤ ターゲットの設定

同一遺伝子を測定するウェルを選択し、“マーク”プルダウンメニューからA, B, C・・・を設定します。「連続設定」機能により、連続入力が可能です。

反応条件設定で選択したフィルターがすべて解析対象となります。

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

⑥ レプリケートの設定

同じ検体サンプルでの反応を複数ウェルで行う場合、同一サンプルを測定するウェルを選択して、レプリケートマーク 1, 2, 3, 4・・・を指定します。連続設定機能により、連続入力が可能です。

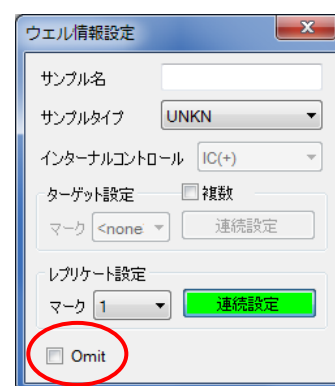
- (1) 最初のレプリケートのウェルを選択し、“マーク”プルダウンメニューから番号を選択。
- (2) “連続設定”ボタンをクリック。
- (3) 次のレプリケートのウェルを選択すると、次の数字が繰り上げ入力される。
- (4) 設定を解除するには、再度“連続設定”ボタンをクリックする。



次に入力予定のマークがカーソルに表示される。

⑦ Omitの設定

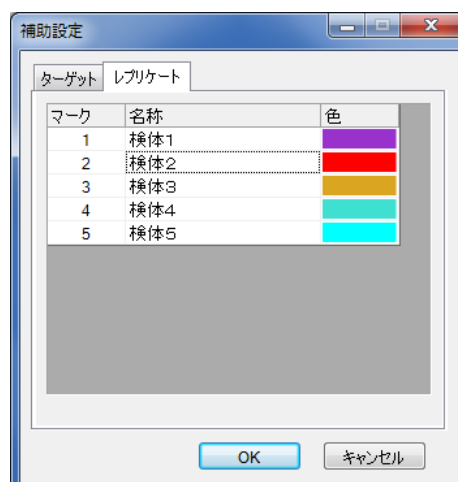
反応に使用しないウェルは、Omitにチェックを入れることで、解析から除外することができます。



(2) 補足

■ ウェル情報 補助による名称設定

画面右上のウェル情報“補助”ボタンをクリックすると“補助設定”が表示されます。レプリケートのタブをクリックすると、サンプル設定画面で設定したレプリケートの名称を入力できます。



タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

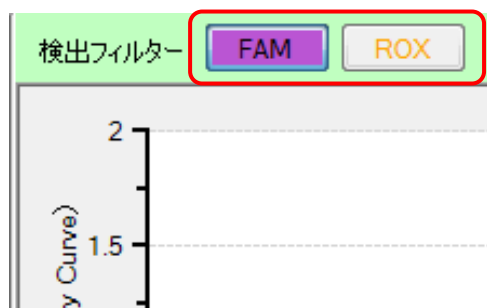
食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

6. 結果/解析

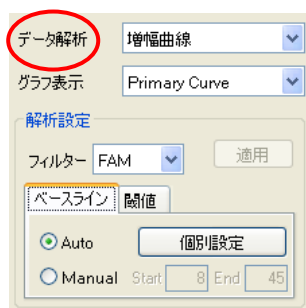
結果/解析画面では、結果の表示や解析パラメータの設定を行います。画面は、上下二画面に分かれており、それぞれに任意の図を表示させることができます。

(1) 基本操作

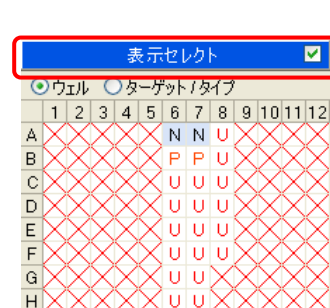
- ① 検出フィルターボタンをクリックするとそのフィルターのグラフが表示されます。
- ② データ解析のプルダウンメニューからデータの種類を選択します。
- ③ 表示セレクトで表示／解析するウェルを選択します。表示セレクトは、表示セレクトタブのクリックで表示／非表示を切り替えます。



①検出フィルターの選択



②データの種類の選択



③表示するウェルの選択

(2) データの種類と解析法

■ 増幅曲線

増幅曲線には、グラフ表示の種類としてPrimary CurveやRawがあります。

Primary Curve : 通常の一次曲線です。

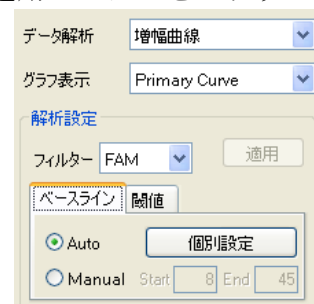
Crossing Point法 (CP法) によるCt値の算出に用います。

Raw : 蛍光値の生データです。

バックグラウンドなど、測定結果の確認が必要なときに参照します。

【解析パラメータの設定変更の仕方】

増幅曲線を表示させると、グラフの右側には解析パラメータの設定項目が表示されます。閾値のタブをクリックするとグラフに閾値が表示されます。デフォルトのAuto設定が適切でない場合は、Manualを選択し、解析パラメータを変更してから“適用”ボタンをクリックしてください。



タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

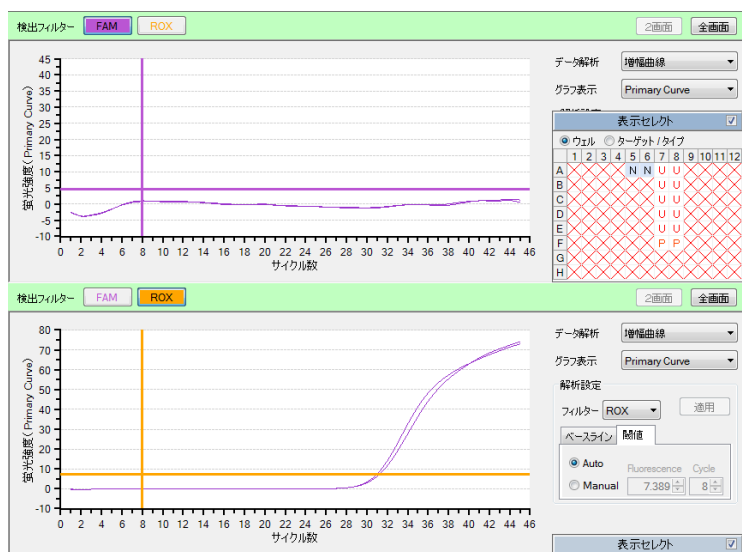
食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

【解析の手順】

※以下は、ターゲットをFAMで、インターナルコントロールをROXで検出する場合の確認方法です。

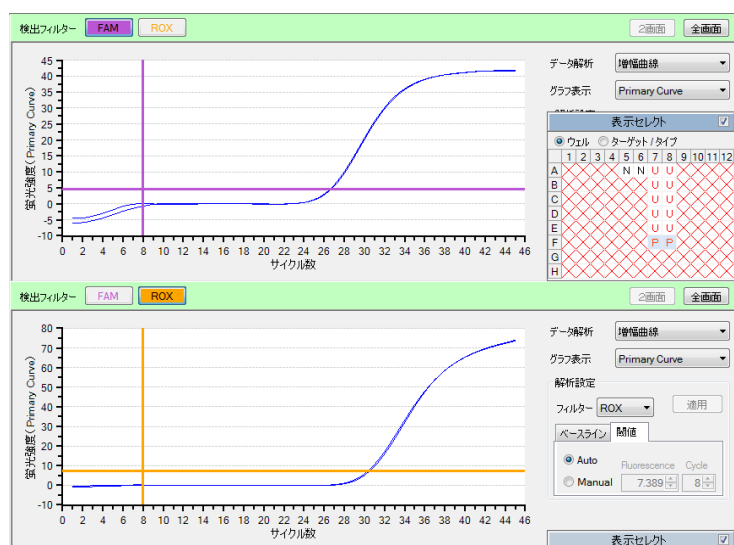
① NCの反応結果確認

表示セレクトで《N》のウェルを選択し、検出フィルター《FAM》においてベースラインの蛍光シグナルに変化がなく閾値を超えないこと、および検出フィルター《ROX》で増幅曲線が描かれ閾値を超えていることを確認します。《FAM》においてベースラインが安定せず、閾値を超えた場合は、トラブルシューティングを参照ください。



② PCの反応結果確認

表示セレクトで《P》のウェルを選択し、検出フィルター《FAM》で増幅曲線が描かれ閾値を超えていること、および検出フィルター《ROX》で増幅曲線が描かれ閾値を超えていることを確認します。



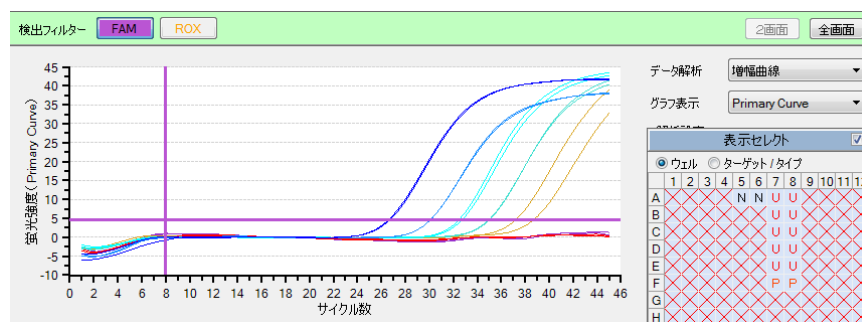
タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

③ 検体サンプルの反応結果確認

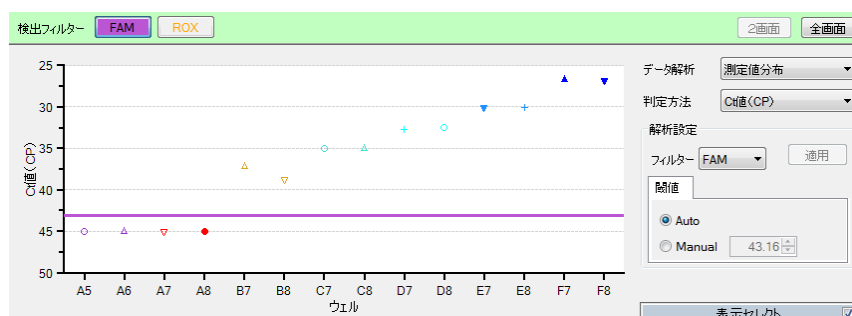
表示セレクトで反応を行ったウェルをすべて選択し、検出フィルター《FAM》で増幅曲線やベースラインが、正常に描かれていることを確認します。



■ 測定値分布

測定値の分布を表示します。

判定に用いるデータは、増幅曲線の最終蛍光値 またはCt値（CP法，SDM法）から選択可能です。プラス／マイナス判定のための閾値は、ネガティブコントロールの値を基準に自動設定される他、Manualで任意の値を設定することも可能です。



タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

■ 判定結果

検出フィルターの“総合判定”がチェックされた状態では、インターナルコントロールの結果を踏まえた総合判定結果が表示されます。検出フィルター《FAM》または《ROX》を選択すると、各々の検出フィルターでの検出結果が+、-で表示されます。

コントロール反応の判定結果

OK: コントロール反応：正常

OUT: コントロール反応：異常

検体サンプルの判定結果

Posi.: 陽性

Nega.: 陰性（検出限界以下）

ND: 偽陰性、判定不能

（インターナルコントロール、ターゲット遺伝子ともに検出されていない場合）

ERROR: エラー（同一レプリケート内で判定結果が異なる場合）

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

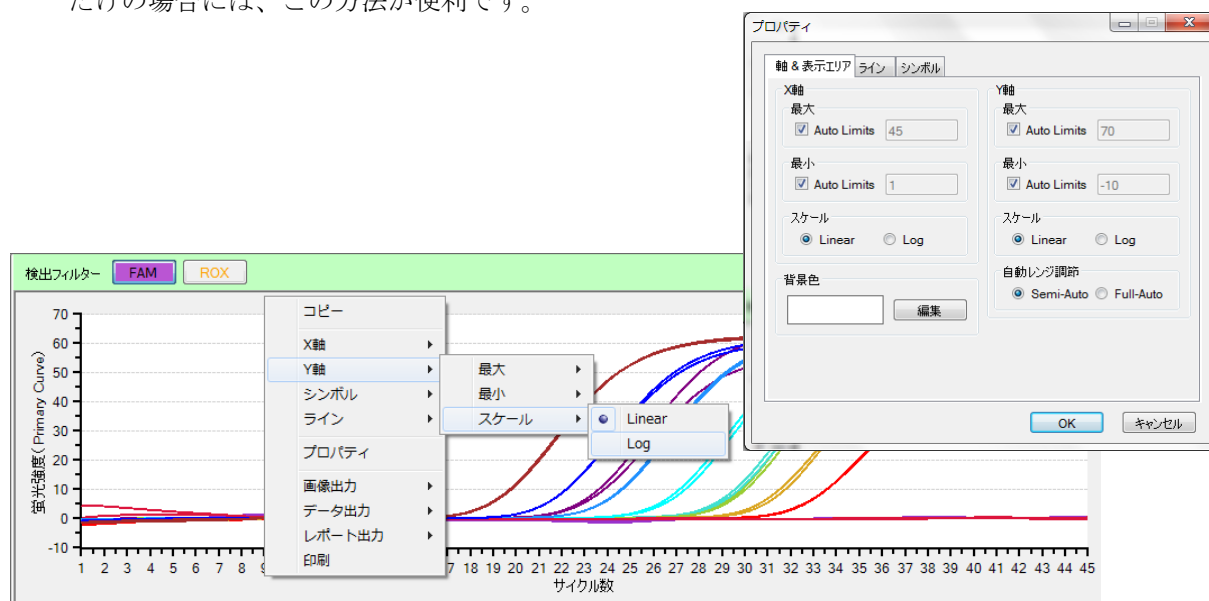
食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析（+/- 判定用） -

判定結果についての注意

- 陰性コントロール反応で、増幅が認められた場合
→ コンタミネーションの疑いがあるため、反応液の調製場所および使用する機器を除染する。
- 陽性コントロール反応で、増幅が認められなかった場合
→ 何らかの原因でPCR反応または蛍光検出が正常に行われていない。
→ サンプル中に反応阻害物質が含まれている可能性もあるので、サンプルを希釈して再反応を行う。または検体の再調製を行い、再反応を行う。
- 陽性コントロール反応で、インターナルコントロールでは増幅が認められ、ターゲットの増幅が認められなかった場合
→ **Primer/Probe Mix**に問題があるか、陽性コントロールが分解している可能性がある。

(補足) グラフ表示形式の変更

グラフ上でダブルクリックすると、“プロパティ” ウィンドウが表示されます。軸目盛りの変更やLinear、Log スケールの切り換え、ラインやシンボルのデザインの変更ができます。なお、これらのグラフ表示の変更は、右クリックのショートカットでも選択できます。変更内容がひとつだけの場合には、この方法が便利です。



タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

7. 結果の出力

■ 総合判定結果の出力

総合判定の結果は、数値データあるいはレポートとして出力できます。

【データ出力】

右クリックでショートカットを表示させ、[データ出力]→[CSV]または[Excel]を選択してください。

【レポート出力】

右クリックでショートカットを表示させ、[レポート出力]→[Word]または[Power Point]を選択してください。

検出フィルター FAM ROX 総合判定												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A						OK	OK	Posi.				
B						OK	OK	Posi.				
C						Posi.	Posi.	Posi.				
D						Posi.	Posi.	Posi.				
E						Posi.	Posi.	Nega.				
F						Posi.	Posi.	Nega.				
G						Posi.	Posi.					
H						Posi.	Posi.					

■ テキストレポートの出力

テキストレポートの内容は、CSV形式またはExcel形式のファイルとして出力できます。

テキストレポートを表示させ、表示項目では“CP法データ”に、詳細項目では必要な項目に☑を入れます。右クリックでショートカットを表示させ、[データ出力]→[CSV]または[Excel]を選択してください。

サンプル名	サンプルタイプ	レプリケートマ	検出フィルター	Ct値(CP)
滅菌水	NC	1	FAM	
滅菌水	NC	1	FAM	
コントロールDNA	PC	-	FAM	
コントロールDNA	PC	-	FAM	
サンプル1	UNKN		FAM	
サンプル1	UNKN		FAM	
サンプル2	UNKN		FAM	
サンプル2	UNKN	4	FAM	
サンプル3	UNKN	5	FAM	
サンプル3	UNKN	5	FAM	
サンプル4	UNKN	6	FAM	
サンプル4	UNKN	6	FAM	
サンプル5	UNKN	7	FAM	

データ解析

テキストレポート

表示形式

ウェル

表示項目

☐ 解析条件
☒ CP法データ

詳細項目

☒ ウェル
☒ サンプル名
☒ サンプルタイプ
☒ レプリケートマーク
☐ レプリケート名
☒ 検出フィルター
☒ Ct値(CP)
☒ 結果(CP)
☒ 判定(CP)

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

※ 他のグラフ等も上記と同様な操作で出力できます。出力したいグラフ等の上で右クリックでショートカットを表示させ、出力形式を選択してください。

■ レポート作成機能

いくつかの図をまとめてレポートを作成することもできます。

【レポート作成（Word, Power Point）】

ファイルメニューからフルレポート作成を選択すると、“フルレポート設定”画面が表示されます。必要な図とファイル形式を選択して、“OK” ボタンをクリックするとレポートが作成されます。



【レポート印刷（PDF ファイル）】

レポートをPDFファイルとして保存することもできます。ファイルメニューから印刷を選択すると、“フルレポート”画面が表示されます。必要な図とファイル形式を選択して、“OK” ボタンをクリックすると” Print Preview”画面が表示され、ここのFileメニューからsaveを選択するとPDFファイルとして保存されます。

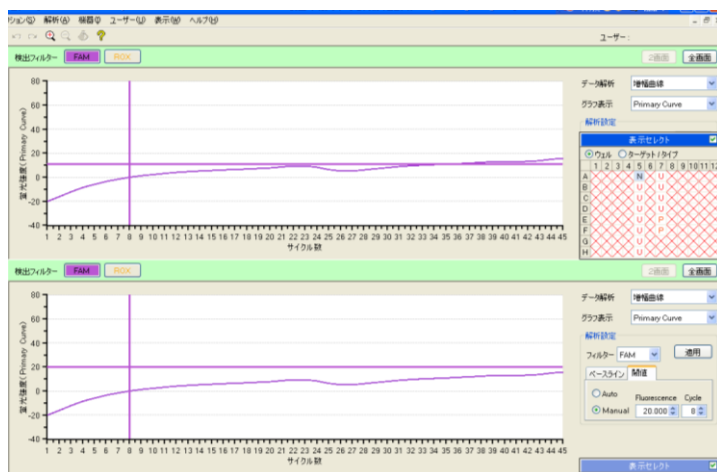
8. トラブルシューティング

◆ 陰性コントロール反応においてベースラインが閾値を超えた場合

- 1 データ解析から“増幅曲線”を選択し、グラフ表示から“Raw”を選択する。表示セレクトで《N》のウェルを選択し、検出フィルター《FAM》を選択する。
- 2 増幅曲線（Raw）の形状を確認する。

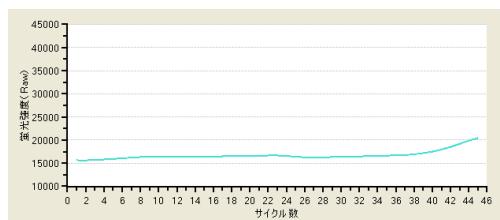
2.1 ベースラインが不安定で閾値を超えたと判断される場合

閾値をManual設定に変更し、閾値をベースラインを超えない位置に設定して“適用”ボタンを押す。



2.2 PCR増幅によるシグナル増加と判断される場合

コンタミネーションの疑いがあるため、反応液の調製場所および使用機器を除染する。



タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -

9. リアルタイムPCR装置関連製品

■消耗品

製品名	用途	製品コード	容量	価格
0.1 ml 8-strip tube, individual Flat Caps	独立型キャップ付き 8 連チューブ	NJ902	120 strips	¥19,000
0.1 ml 8-strip -neo- tube & cap Set	8 連チューブ	NJ907	120 strips	¥18,500
0.2 ml 8-strip tube, individual Flat Caps	独立型キャップ付き 8 連チューブ	NJ600	120 strips	¥21,000
0.2 ml Hi-8-Tube	8 連チューブ	NJ300	125 strips	¥17,500
0.2 ml Hi-8-Flat Cap	8 連チューブキャップ	NJ302	125 strips	¥4,500
FrameStar® 0.1ml 96 well qPCR plate	96well プレート	NJ904	10 枚	¥9,000
Sealing Film for Real Time	96 well プレート用のシー ル(圧着タイプ)	NJ500	100 枚	¥33,500
Plate Sealing Pads	圧着用パッド	9090	5 個	¥9,500
Sealing Film for Real Time (Adhesive) Ver.2	96 well プレート用のシー ル	NJ502	100 枚	¥27,500
48 well snap plate	48wel プレート	NJ700	20plates	¥9,500
Flat cap for snap plate	48wel プレート用のフラッ トキャップ	NJ720	120 strips	¥7,000

表示価格はすべて税別です。

- 最新のライセンス情報に関しては弊社ウェブサイトにてご確認ください。
- 本冊子の内容の一部または全部を無断で転載あるいは複製することはご遠慮ください。
- 本冊子に記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。
- 本冊子記載の価格は2021年4月7日現在の希望小売価格です。価格に消費税は含まれておりません。

タカラバイオ株式会社

テクニカルサポートライン

TEL. 077-565-6999 FAX. 077-565-6995
 首都圏支店 TEL. 03-3271-8553 FAX. 03-3271-7282
 西日本支店 TEL. 077-565-6969 FAX. 077-565-6995

2104

タカラバイオ

Thermal Cycler Dice Real Time System シリーズ

食品環境検査用ソフトウェア Quick Manual- 定性解析 (+/- 判定用) -